

初春の舞台を護る 提げ時計
はさ 挟む合いの手 涼しかりけむ

令和四年一月十三日

大中臣正比呂



新春のお師匠さんの舞台は黒の衣装で、帯に挟む さくら色の提げ
時計が御守りだ。三味線だけのフレーズを「合いの手」というが、
その音色も姿も澄んで美しい。